(記入例)

特定施設設置届出書

令和○○年 ○○月 ○○日

(宛先)長野市上下水道事業管理者

申請者 住 所 東京都〇〇区〇〇1丁目23番地

電話番号 03-000-000

氏名又は名称 及び法人に あってはその 代表者の氏名

○○○石油株式会社 代表取締役 ○○ 一郎

下水道法第12条の3第1項(下水道法第25条の10において準用する同法第12条の3第1項)の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	○○○石油株式会社 長野給油所	※整理番号
工場又は事業場の所在地	長野市○○2丁目3番地	※受理年月日
特定施設の種類	71 自動式車両洗浄施設	※施設番号
△特定施設の構造	別紙のとおり。	火灾 木灶田
△特定施設の使用の方法	別紙のとおり。	· ※審査結果
△汚水の処理の方法	別紙のとおり。	
△下水の量及び水質	別紙のとおり。	, ※備 考
△用水及び排水の系統	別紙のとおり。	

備考

- 1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

(記入例) 特 定 施 設 の 構 造

施設	名	71 自動式車両洗消) 施設						
(特定施設番	番号)	(1)	()	()
型	计	〇〇〇精工(□□□洗車: SH-54	機						
材質・形状・主導	造 要寸法	別図(5)のと	こおり	別図() Ø 8	とおり	別図()	とおり
能	力	洗車時間 1台/180秒 30L/min							
設 置 数		1	基		-	基		基	
新設変更の着	手予定	OO年OO月	ОО Н	年	月	日	年	月	日
完成予	定	00年00月	00 日	年	月	日	年	月	日
使用開始	予 定	OO 年 OO 月	00 日	年	月	日	年	月	日
その他参考	事 項								

(記入例) 特定施設の使用の方法

施 設 名	71 自動式車両洗浄施設		
(特定施設番号)	(1)	()	()
	9時から 18時まで	時から 時まで	時から 時まで
一日の使用時間	連続(時間ごと)	連続 (時間ごと)	連続(時間ごと)
	(1.2 時間/日)	(時間/日)	(時間/日)
季節的変動の概要	夏季繁忙期		
原材料の種類 一日あたりの使用量 及び使用方法	〇〇〇社製 〇〇クリーン(0.1L/日) 洗剤を希釈して使用 洗車台数 (5~10台/日)		
排水・残渣等の扱い	排水は油水分離槽 1 経由後、下水道No.1 へ 沈殿汚泥は、 廃棄物として業者回収		
その他参考事項	残渣 の 回収業者 「㈱ロロロサービス」 TEL026-000-0000		

<mark>(記入例)</mark> 汚 水 の 処 理 の 方 法

汚水処理施設名 油水分離槽								
(汚水処理施設番号)		(1 2)	()	()
着手予定		〇〇年〇〇月〇〇日	年	月	月	年	月	日
5	克 成 予 定	○○年○○月○○日	年	月	Ħ	年	月	Ħ
使	用 開 始 予 定	〇〇年〇〇月〇〇日	年	月	月	年	月	目
汚水処理の方法		自然沈殿分離式						
水処理施設	種類・型式	□□社製 4 槽式·OT-4						
の概要	能力	容量 380 L × 2						
	汚水処理施設の構造	別図(8)のとおり	別図() Ø 8	とおり	別図() Ø	とおり
汚水処理施設の 使用時間		9時から 18時まで	時	から	寺まで	時から	, []	寺まで
		連続(時間ごと)	連続	(時間	ごと)	連続(時	:間ごと)
		(9 時間/日)	(時間]/日)	(時間]/日)
季 :	節的変動の概要	夏季繁忙期						
	x 等の処理に要する £資材の1日あたりの 途 別 使 用 量	オイルマット (10~16枚/月)						
残渣の量及びその処理方法		汚泥〇〇kg/月 産業廃棄物処理委託						
排除場所		公共用水域①、②						
そ	の他参考事項	残渣の回収業者 「㈱口口サービス」 TEL026-000-000						

<mark>(記入例)</mark> 下 水 の 量 及 び 水 質

排水口番号		下水	道No.1	公共用	水域No.1	(参考)
下水排除量(m ³ /日)		平均 最大		平均 最大		下水排除
項目(単位		0.5	1.0	1.1	1.7	基準
温度	(°C)					45
水素イオン濃度(pH)						5~9
生物化学的酸素要求量(BOD) (mg/l)					600
浮遊物質量(SS)	(mg/l)					600
n-ヘキサン 鉱油類	(mg/l)			2.0	3.0	5
抽出物質動植物油脂類	頁 (mg/l)					30
よう素消費量	(mg/l)					220
フェノール類	(mg/l)					5
銅	(mg/l)					3
亜鉛	(mg/l)					5
溶解性鉄	(mg/l)					10
溶解性マンガン	(mg/l)					10
クロム	(mg/l)					2
カドミウム	(mg/l)					0.05
シアン	(mg/l)					0.5
<u>鉛</u> 有機りん	(mg/l)					0.1
六価クロム	(mg/l) (mg/l)					0.3
ひ素	(mg/l)					0.3
総水銀	(mg/l)					0.003
アルキル水銀	(mg/l)					不検出
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	(mg/l)					0.003
トリクロロエチレン	(mg/l)					0.3
テトラクロロエチレン	(mg/l)					0.1
ジクロロメタン	(mg/l)					0.2
四塩化炭素	(mg/l)					0.02
1,2-ジクロロエタン	(mg/l)					0.04
1,1-ジクロロエチレン	(mg/l)					0.2
シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/l)					0.4
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/l)					3
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/l)					0.06
1,3-ジクロロプロペン	(mg/l)					0.02
チウラム	(mg/l)					0.06
シマジン	(mg/l)					0.03
チオベンカルブ	(mg/l)					0.2
ベンゼン	(mg/l)					0.1
セレン	(mg/l)					0.1
ほう素	(mg/l)					10
ふつ素	(mg/l)					8
アンモニア性窒素、亜硝酸性 窒素及び硝酸性窒素	(mg/l)					380
	(pg-TEQ/l)					10
摘要						

(<mark>記入例</mark>) 用途別用水使用量

用途区分	平 均 用 水 量 (m ³ /日)	最大用水量 (m ³ /日)	水源種別
自動式車両洗浄施設	1.0	1.5	上水道
事務所・トイレ系	0.5	1.0	上水道
マットクリーナー・その他	0.1	0.2	上水道
計	1.6	2.7	

備考

用途区分は、工場等の特定施設ごと及び一般工場水、事務所系用水等に区分すること。

添付書類

- (1)工場又は事業場の付近の<mark>見取図</mark>
- (2)工場又は事業場の建物・特定施設及び特定施設に関連する主要設備等の配置図(この配置図には、 上水の給水経路を青で、井水の給水経路を縁で、下水道へ排除する排水経路を赤で、公共用水域へ 排出する排水経路を<mark>橙</mark>色で記入すること)
- (3)特定施設の構造概要図(主要寸法記載のこと。カタログでも可。)
- (4) 汚水等の排出又は発生及び汚水の処理に係る操業の系統の概要説明図
- (5)汚水等の処理施設の構造概要図(主要寸法記載のこと。カタログでも可。)

図-1 付近の見取り図 (記入例)

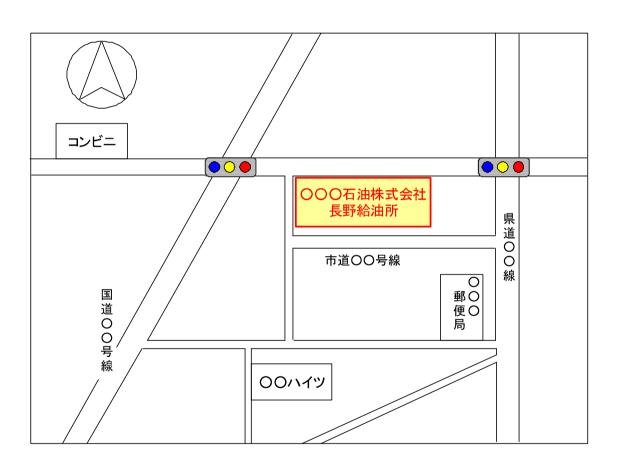


図-2 特定施設等主要機器の配置図(記入例)

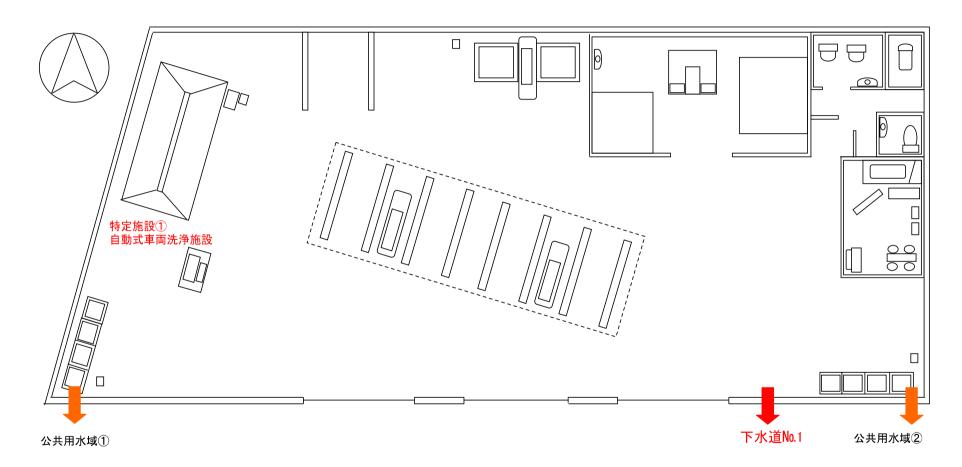


図-3 給水系統図(記入例)

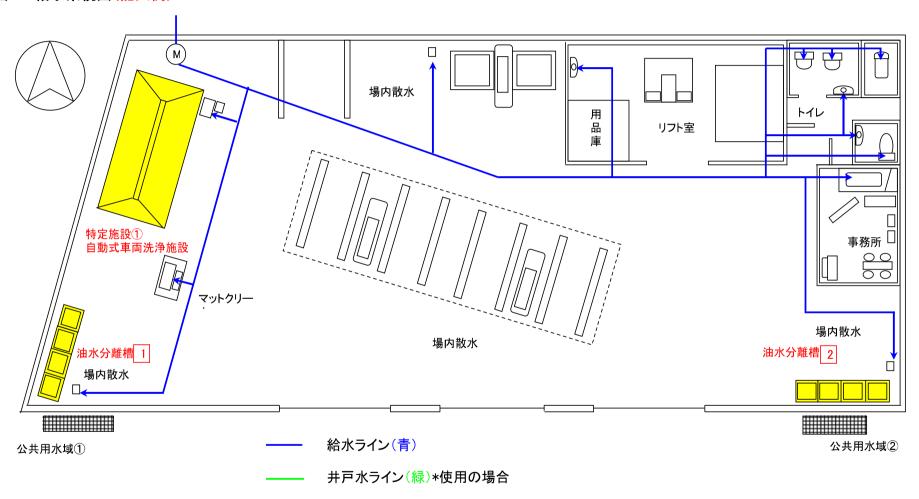


図-4 排水系統図(記入例)

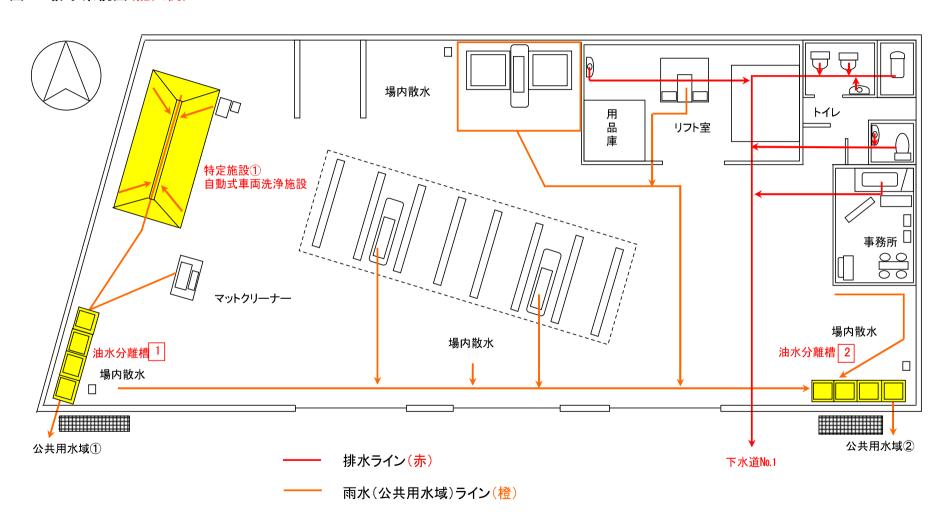
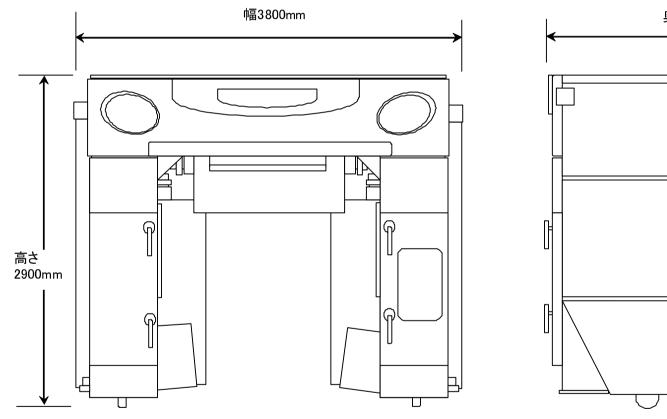
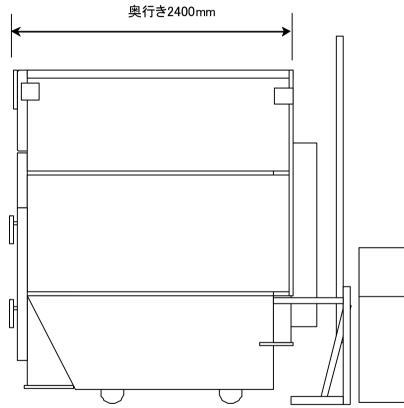


図-5 特定施設の構造図(記入例)





特定施設①

〇〇〇精工㈱ □□□洗車機 SH-54

図-6 操業系統図(記入例)

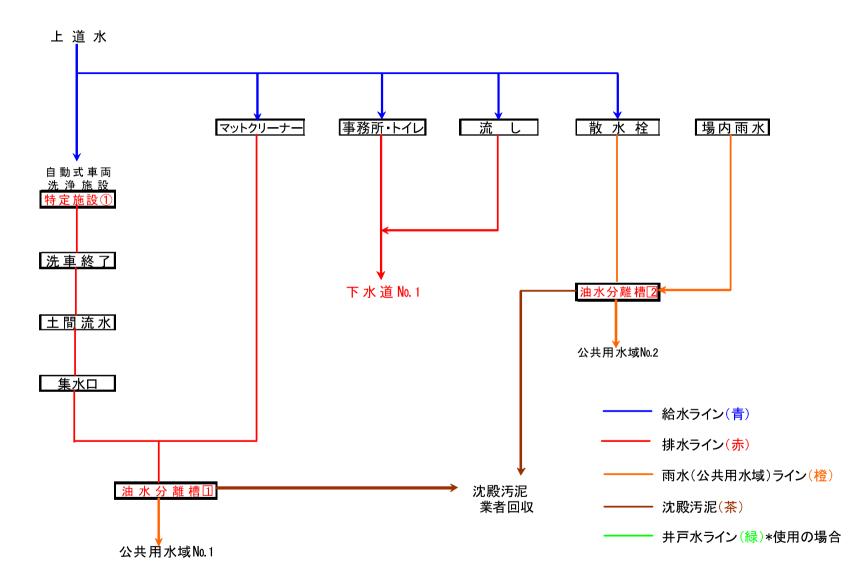
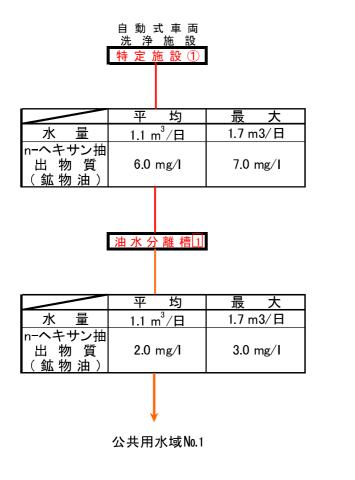


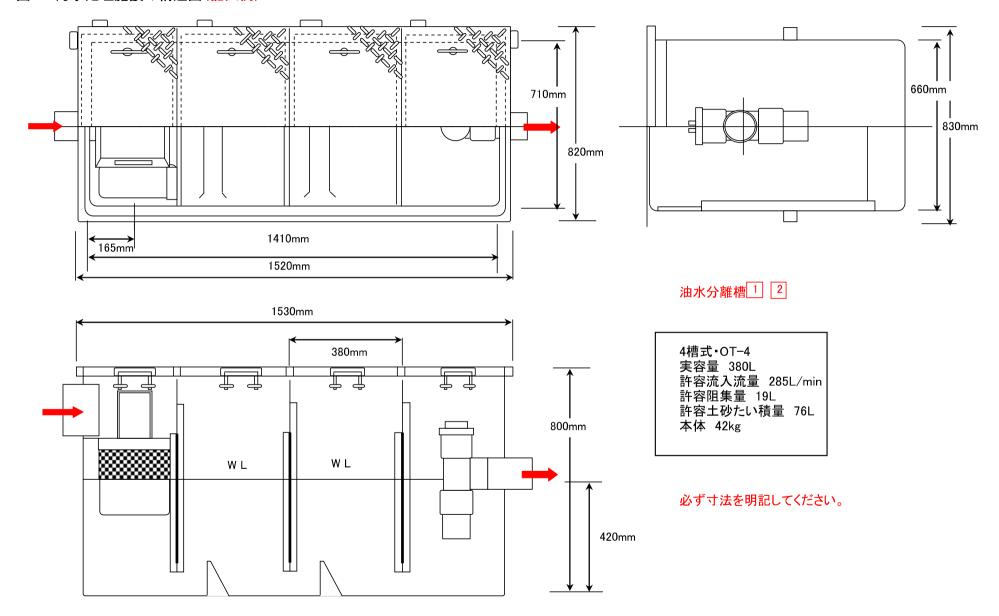
図-7 汚水処理系統図(記入例)



排水ライン(赤)

雨水(公共用水域)ライン(橙)

図-8 汚水処理施設の構造図(記入例)



8. 油水分離槽容量計算書(記入例)

*複数油水分離槽を所有している場合は、自動式車両洗浄施設用として使用している油水分離槽について、記入してください。

長野市上下水道局排水設備工事施工基準による

① 1日あたりの使用水量

1台あたり 30L / min

洗車時間 3min/台

 $30L \times 3min = 90L$

② 1日あたりの洗車台数

5~10台/日

90L × 10台 = 900L

③ 営業時間

9:00 ~ 18:00

10時間

今回、設置の油水分離槽(OT-4)の実容量は、380Lであるため 360L < 380L

上記の計算より、有効容量を満たしています。